

**hot news**  
**FISノルディック世界選手権開催決定**  
 2007(平成19)年スキー界の精鋭たちが札幌に

以前から招致を進めてきた二〇〇七年のFISノルディックスキー世界選手権大会の本市開催が決定しました。

この大会は、一九二四年から開かれていたジャンプ、複合、クロスカントリーの世界大会。一九七二年の冬季オリンピック札幌大会は、この大会を兼ねたものでしたが、一場、白旗山競技場を会場に、

約十日間にわたって二十一種目で熱戦が繰り広げられます。一流選手の活躍で沸いたFIFAワールドカップの最終中に飛び込んできたこのニュースは、世界を目指す若きスキー選手にとっても大きな励みになりそうです。スポーツによるまちづくり・ひとづくりを目指している本市では、今後スポーツイベントの誘致を積極的に進めていきます。

**【詳細】** スポーツ事業課(21) 3045

**hot news**  
**夜間急病センターなどの複合施設を建設**  
**保健所のほか精神保健福祉関連の施設も整備**

夜間急病センターなど保健・医療・福祉関連の複合施設の建設に、八月から取り掛かります。場所は、中央区大通西一九丁目の技能訓練会館跡地。現在の夜間急病センターの東隣に位置します。

夜間急病センターは、昭和四十七年、夜間における救急患者のための医療施設として全国に先駆けて開設されました。しかし、近年では、施設の老朽化が進むとともに、待合室や診察室などが手狭になってきています。

障害者地域生活支援センターも新設します。

いずれの施設も開設は平成十六年度です。

**【詳細】** 医療調整課(21) 2893 (夜間急病センターのこと)、保健所保健管理課(622) 5151、精神保健福祉センター(622) 2561、障害福祉課(21) 2936 (精神障害者地域生活支援センターのこと)



複合施設の完成予想図

**hot news**  
**都心内100円バスが実験から本格運行に**  
**各バス事業者がこれまで通りの区間で運行**

通常のバス路線を、都心の区間に限り大人100円、子供五十円で利用できる「都心内100円バス」の実験が、七月から、バス事業者による本格運行の形で引き継がれることになりました。

この実験は、都心内を公共交通機関で気軽に移動できる環境をつくり、都心の魅力向上を促すため、昨年九月から都心交通対策実行委員会と市

が共同で実施してきたものです。昨年九月からの実験期間中、都心の区間を利用した方は通常期の約二・三倍に増えたとほが、利用者へのアンケートでも九四%の方から「また利用したい」との声が寄せられています。

運行路線と区間は、左地図の通り、これまでと同じです。

**【詳細】** 交通企画課(21) 2254

都心内100円バス 運行区間(バス停) バス路線

中央バス(☎231-0500) 札幌駅前～南4条(大通東1の中央バス札幌ターミナル発着便を除く)

じょうてつバス(☎572-3131) 札幌駅～すすきの

ジェイ・アールバス(☎241-3771) 札幌駅～北1西7(高速バス除く)、札幌駅～サッポロファクトリー

100円でのご利用は現金に限ります。路線・時刻などの詳細は、各バス事業者へ。ホームページhttp://www4.city.sapporo.jp/sogokotsu/toshin/sap100/でもご覧いただけます。